

S I G - I 第 1 回 会 合 議 事 要 旨

1 日 時

平成 17 年 7 月 7 日 (木) 14 時 00 分 - 16 時 00 分

2 場 所

総務省 10 階 1001 会議室

3 出 席 者 (敬 称 略)

(構 成 員)

森 伸二 (尾崎構成員代理)、楠 正憲 (田中構成員代理)、永井 研二、若尾 正義、赤田 正雄、石田 和人、伊藤 健司、後川 彰久、岡坂 定篤、梶原 邦昭、金井 毅雄、上村 治、川端 啓之、北川 卓志、庄子 聡彦 (小坂井構成員代理)、坂本 光男、佐藤 正房、石山 康 (庄納構成員代理)、白石 直、竹内 一斉、花岡 誠之、土肥 智弘 (林構成員代理)、松本 賀久、水口 朗、武藤 大、石津 文雄 (村上構成員代理)、渡辺 文夫、Snejana Andjelkovic (Saffari 構成員代理)

(総務省)

田中衛星移動通信課企画官、塩崎電波政策課検定試験官、今井電波政策課周波数調整官、根本電波環境課課長補佐

4 議 事

- (1) S I G - I の進め方について
- (2) 各提案システムの分類について
- (3) 各提案の概要等について
- (4) 需要・ニーズの分析について (ITU-R WP8F における検討状況)
- (5) その他

5 議 事 概 要

- ・ 資料 SIG-I-1-1 から資料 SIG-I-1-3 に基づき、S I G - I の開催要綱、S I G - 1 の検討の進め方、S I G - I の開催スケジュールについて事務局より説明があり、了承された。
- ・ 資料 SIG-I-1-4 に基づき、提案システムの分類について事務局より説明があり、了承された。
- ・ 参考資料 SIG-I-1-2 に基づき、提案者より各提案システムについて説明があった。
- ・ 資料 SIG-I-1-5 に基づき、ITU-R WP8F マーケットレポート関連報告について、株式会社 K D D I 研究所 中村氏より説明があった。
- ・ 資料 SIG-I-1-4 のシステムの 3 分類ごとに利用イメージ、需要等を取りまとめることとなり、第 3 世代携帯電話もしくはその高度化システム及び第 4 世代移動通信システムについては株式会社 N T T ドコモ 林構成員が、その他のワイヤレスブロードバンドシステムに

についてはKDDI株式会社 渡辺構成員がとりまとめることとなった。

- ・ 今後は適宜電子メールにより審議や連絡を行うこととなり、メーリングリストを作成することとなった。

6 議事内容

議事について以下のような議論があった。

- ・ 周波数については、提案システムを限定せず利用シーンごとに検討する。
- ・ 資料 SIG-I-1-4 の3つの分類毎で周波数が別となるかどうかについては、今後の議論の前提として、3分類の関係の利用イメージでの整理が必要。
- ・ 分類間の利用シーンがオーバーラップするかないか、また導入時期も考慮して、周波数の具体的な検討を行う。
- ・ 従来、無線システムは移動、固定という分類であったが、本SIGの提案システムでは移動と固定が混在している。周波数帯幅を議論する場合、アクセス系、エントランス系、中継系を整理することが必要。
- ・ 所要帯域幅の新たな算出法はITU WP8Fにおいて10月に最終決定されるが、内容はほぼ確定しているため、本SIGにおいても算出方法として使用可能。
- ・ 周波数帯の検討については「周波数の再編方針」を念頭に置いて行っていく。

以上